

「18歳の壁」と「学びの場」

衆議院議員 森ようすけ

衆議院議員 森ようすけ



認知が進んでいないのが問題です。

永野 現行の学校教育でも「留年」は可能ですね。留年が普通に選択できる環境が整えば、今の制度でも対応できる気がします。

森 親御さんや先生の「留年＝失敗」という固定概念を取り払う必要がありますね。文部科学大臣にも提言したところ「各教育委員会の判断で可能だ」という

前向きな回答をいただきました。「留年」という言い方をなくし、発達に合わせた柔軟な進級の仕組みに転換していくべきだと思います。

「やりがい搾取」に頼らない持続可能な福祉サービスへ

森 支援教育の「担い手」も大きな課題です。特別支援学級の担当には育休明けの先生や、教える科目に空きがない先生が配置されるとききます。

永野 専門性や意欲に基づく配置ではない、ということですね。

森 先ほど紹介した旭出学園のように、特別支援教育を強く志望する先生が集まり、みんなが生き生きとした環境の学校もあります。

永野 一方で、私立の特別支援教育全体としては、公立と比べて行政支援の枠組みが小さく、給与や待遇の面で、制度上どうしても限定されてしまっています。

永野 先生方の熱意に對して十分な待遇が伴いづらいという、業界

全体の構造的な課題がありますね。

森 当事者の親御さんが福祉サービスの提供側に回るケースも多いですが、これも自助の頑張りに頼りすぎた状態です。「福祉で儲けるのは悪」という風潮は根強いですが、利益が出て職員に適切に還元できなければ、良い人材は集まらず持続もしません。

永野 「親なき後」の不安から必死に働くお金を残そうとしても、所得制限に引つかれ、手当が打ち切られてしまうという声もあります。

森 働けば働くほど支援が受けられなくなるという制度は、働くモチベーションを妨げてしまう。国民民主党としても、障がい児福祉の所得制限撤廃を強く訴えています。

永野 課題は山積みですが、こうして政治が現場の声を拾い上げ、壁を一つずつ崩していくてくれる

ことに期待します。

森 私は当事者ではありませんが、だからこそ、多様な当事者の声を公平に受け止め、政策として形にできると信じています。現場で感じている課題やこういう政策が必要だという声を、ぜひ私たちに届けてください。一緒に解決していくましょう。



衆議院議員 森ようすけ

国民民主党所属、東京13区選出の衆議院議員。2024年の第50回衆議院選挙で初当選。これまでに会社経営者、環境省職員、外資系戦略コンサルタントなどを経験。現在は、障がい者福祉に関する政策提言などを掲げる。

18歳以降の障がい者たち

18歳以降の居場所がない

迎コストが増えてしまう。延長支援加算は良い取り組みですが、もう一步が足りない現状です。

永野 18歳以降、15時からの時間をどうするか。ここに親御さんの不安の核心がありますね。

森 特別支援学校の放課後の空き教室を、15時以降のデイサービスに活用するなど、既存の施設をうまく使う工夫もあります。

森 まさにその声が、私がこの問題に取り組むきっかけでした。「こくみんAIプロジェクト」で政策課題を募集したところ、「18歳の壁」を声が、私がこの問題に取り組むきっかけでした。

森 まさにその声が、想像以上何とかしてほしい」という声が想像以上に寄せられたのです。

永野 そうだったのですね。

森 現場で痛感したのは、18歳を過ぎると放課後等デイサービスが利用できなくなり、15時以降の預け先がなくなる現実です。保護者の方は生活のために仕事を続けたいのに、預け先がなく諦めざるを得ない。世田谷区でも、18歳以降の障がいのある方を受け入れている事業所には希望者が殺到し、週5希望でも週1しか利用できない状況でした。

永野 18歳以降の日中サービスはいくつありますが、基本は15時までです。「延長支援加算」という制度もありますが、人員配置を考えると延長は現実的ではありません。

森 15時までなら1交代制で回せますが、延長すると2交代制になり、人件費や送

迎の費用がかかる。そこで、15時まで1交代制で回せますが、延長すると2交代制になります。その結果、就職後の定着率が上がるそうです。

永野 素晴らしい取り組みですね。

森 ただ、そのような専攻科は全国でわずか10校、都内では1校のみ。制度自体の



工房は、キッチンとフロアをあえてガ

人前で作業する工房は
訓練の場所にもなっている

小学6年生の
みいちゃん

「でも、お菓子の腕はどんどん上達していく。これを何かにできないかと思い、地元のマルシェに出店してみることにしました」。それがきっかけで、6年生の4月には、県の施設で月1回のカフェエをオープン。口コミで評判が広がり、夏には大行列に。お客さんが喜ぶ姿に「これだと確信した千里さん。みずきさんの希望もあり、6年生の1月に「みいちゃんのお菓子工房」を開店しました。

援の事業所も見学しましたが、体が動かなくなる症状から、働くのは難しいと感じたといいます。



工房は、キッチンとフロアをあえてガ
人前で作業する工房は
訓練の場所にもなっている

小学6年生の
みいちゃん

希望もあり、6年生の1月に「みいちゃんのお菓子工房」を開店しました。

「でも、お菓子の腕はどんどん上達していく。これを何かにできないかと思い、地元のマルシェに出店してみることにしました」。それがきっかけで、6年生の4月には、県の施設で月1回のカフェエをオープン。口コミで評判が広がり、夏には大行列に。お客さんが喜ぶ姿に「これだと確信した千里さん。みずきさんの希望もあり、6年生の1月に「みいちゃんのお菓子工房」を開店しました。

援の事業所も見学しましたが、体が動かなくなる症状から、働くのは難しいと感じたといいます。

「でも、お菓子の腕はどんどん上達していく。これを何かにできないかと思い、地元のマルシェに出店してみることにしました」。それがきっかけで、6年生の4月には、県の施設で月1回のカフェエをオープン。口コミで評判が広がり、夏には大行列に。お客さんが喜ぶ姿に「これだと確信した千里さん。みずきさんの希望もあり、6年生の1月に「みいちゃんのお菓子工房」を開店しました。

ラスで仕切っています。「案の定、最初みいちゃんは壁に隠れて出てこられませんでした。でも、お店を開けること自体が訓練になりました。声は出せなくても、少しづつガラスの方に出てこられるようになりました。今は問題なく作業できます。お客様からも、厨房からもお互いの様子が見えて、ちょうどいい距離感なんです」。

現在は養護学校に通いながら、工房でケーキを作っています。当初は他のスタッフと同じ空間にいることも難しかったのですが、今では指差しで指示を出せるまでに成長しました。

千里さんは「既存の福祉のあり方」に疑問を持つようになりました。「今の福祉

みんなに幸せを届けたい
みんなを笑顔にしたい
ケーキをたくさん的人に食べてしまい

みんなの夢
3つの夢

みんなに幸せを届けたい
みんなを笑顔にしたい
ケーキをたくさん的人に食べてしまい

千里さんは「既存の福祉のあり方」に疑問を持つようになりました。「今の福祉

制度では、工賃が月に数千円ということも珍しくなく、自立が難しいのが現実です。親も失敗させたくないから守りがちですが、親のマインドが変わらないと、子どもも変わません」。

2025年秋、千里さんは株式会社を設立。みずきさんの「自分で稼ぐ経験」を元に、障がいの有無に関わらず、生きづらさを抱える人たちが個人事業主として自立できる道をサポートする活動を始めました。

「卒業後は作業所へ、というレールだけが道ではありません。たとえ月に千円でも自分の力で稼ぐことができたら、それは大きな自信になります。みいちゃんのようにハンドルがあつても、常識に縛られず一歩踏み出せることを伝えたいです」。みずきさんの作る、可愛い「くまさんのケーキ」。それは、みずきさんが社会とつながり、夢を見つけた証です。彼女の挑戦は、今、同じように悩む家族たちへ、あたたかな希望の光を灯しています。

3名様 PRESENT

杉之原千里『みいちゃんのお菓子工房』12歳の店長兼パティシエ誕生～子育てのアンラーニング～(2024, PHPエディターズ・グループ)

詳しくはP.31

TANEBI STORY一期生募集中！
2026年春、学びと実践をつなぐ伴奏型プログラム「TANEBI STORY」を開講予定。支援されるだけでなく、自分で生きる力を育むスクールを、アンバサダー・みいちゃんと一緒に歩みます。説明会参加者募集中。

説明会お申し込みは
こちらから！

TANEBI
STORY

QRコード

杉之原千里さん
滋賀県在住。「みいちゃんのお菓子工房」のオーナー。3児の母で、現役会社員、家族以外とコミュニケーションが取れないみいちゃんをサポートする。企業や大学、自治体、教育関係者への講演活動も行う。



みいちゃん's SWEETS お菓子で見つけた未来への道

「場面緘黙症」と「自閉スペクトラム症」というふたつの特性を持つ、杉之原みずきさん。小学生の頃から洋菓子店の店長としてお菓子作りに励んできました。この春に学校を卒業するみずきさんの今までの歩みとこれからについて、お母さんの千里さんにお話を伺いました。



店長
杉之原みずきさん



特性で体が動かなくなり
集団生活が難しくなった

りが好きで、小さい頃から一緒に作っていました。それが楽しかったんだと思いました。でも私も仕事がありましたし、材料だけ買ってきて作るのは任せています。

小学生がひとりでレシピを調べ、お菓子を作る。失敗を繰り返しながら「もう上手になりたい」と挑戦を重ね、腕を上げていきました。

携帯を持つと、自分で作ったものをSNSに上げるよう。最初は焼き菓子にぎりの写真でしたが、それが初めてのオンラインでの交流になりました。自分が作ったものに「いいね」と反応がある。それは、みずきさんにとっても新鮮な経験でした。

お菓子作りが上達していく一方で、千里さんは「将来、どう働いていけるだろう」という不安がありました。就労支援

また、耳よりも目からの情報の方が理解しやすい「視覚優位」の特性もあります。「話す言葉より文字の方が理解やすいので、『LINE』して『字で書いて』と言うこともあります」と千里さん。その後、3年生までは順調でしたが、4年生で環境の変化から不登校になりました。

学校に行かなくなり時間ができましたが、親も失敗させたくないから守りがちですが、親のマインドが変わらないと、子どもも変わません」。

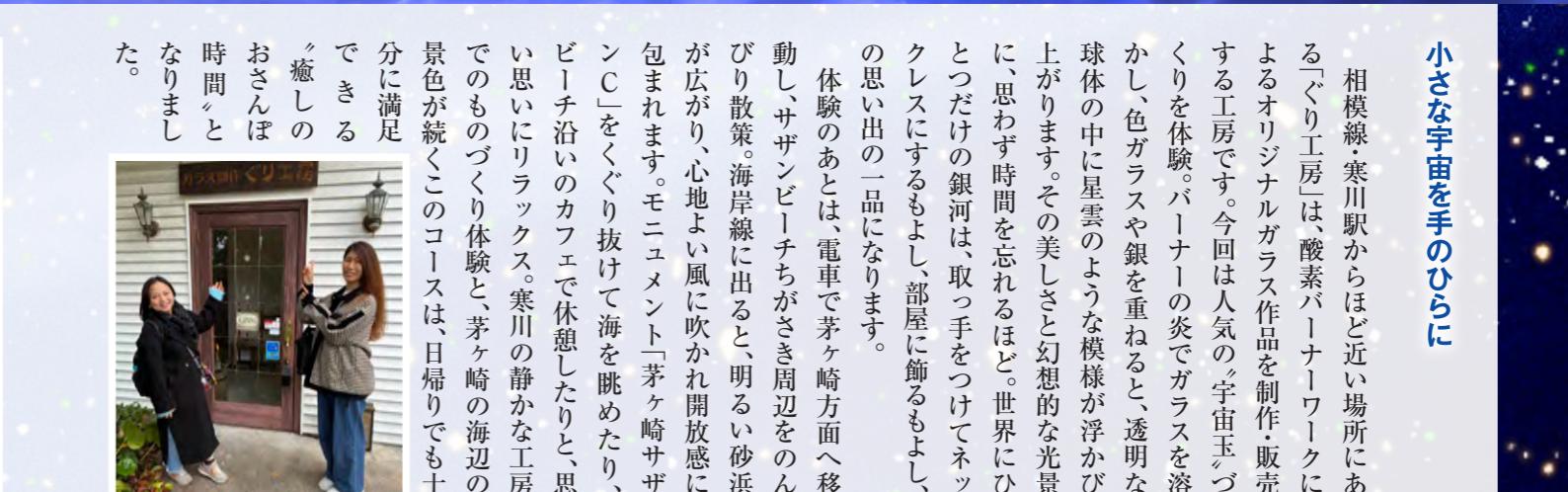
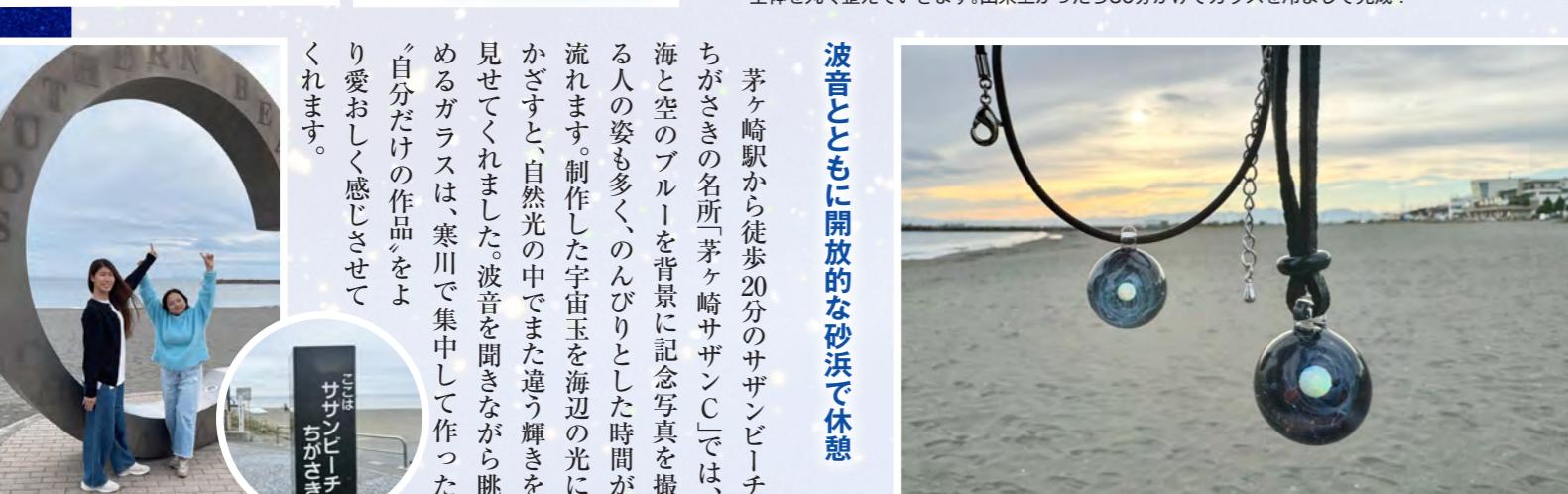
千里さんは、「お菓子作りがしたい」と言い出しました。「もともと私もお菓子作りを始めたのですが、今では指差しで指示を出せるまでに成長しました。

学校に行かなくなり時間ができましたが、親も失敗させたくないから守りがちですが、親のマインドが変わらないと、子どもも変わません」。

「卒業後は作業所へ、というレールだけが道ではありません。たとえ月に千円でも自分の力で稼ぐことができたら、それは大きな自信になります。みいちゃんのようにハンドルがあつても、常識に縛られず一歩踏み出せることを伝えたいです」。みずきさんの作る、可愛い「くまさんのケーキ」。それは、みずきさんが社会とつながり、夢を見つけた証です。彼女の挑戦は、今、同じように悩む家族たちへ、あたたかな希望の光を灯しています。

杉之原千里さん
滋賀県在住。「みいちゃんのお菓子工房」のオーナー。3児の母で、現役会社員、家族以外とコミュニケーションが取れないみいちゃんをサポートする。企業や大学、自治体、教育関係者への講演活動も行う。

滋賀県近江八幡市にあるケーキ店。焼き菓子など、オンラインショップでは全国発送も可能。



小さな宇宙を手のひらに



相模線・寒川駅からほど近い場所にある「ぐり工房」は、酸素バーナーワークによるオリジナルガラス作品を制作・販売する工房です。今回は人気の「宇宙玉」づくりを体験。バーナーの炎でガラスを溶かし、色ガラスや銀を重ねると、透明な球体の中に星雲のような模様が浮かび上がります。その美しさと幻想的な光景に、思わず時間を感じるほど。世界にひとつだけの銀河は、取っ手をつけてネックレスにするもよし、部屋に飾るもよし、の思い出の一品になります。

ぐり工房

ボロシリケイトガラスを酸素バーナーで加工して、ガラス工芸品を作っている工房。代表森永さんの20年以上に渡る経験と技術を詰め込んだ酸素バーナーワークの教室や制作体験を行っている。

今回体験したのは…

宇宙コース・ライトコース(ペア・グループ) ¥8,800~
※最新の情報は公式サイトをご覧ください。

<https://www.guridrops.net/>



障がいのある子の親なきとの問題と 自立に向けた将来設計の勉強会

当事者家族の目線で解説いたします

障がいのある子の親やきょうだい、そして支援者の方々に、その子の将来について知ってもらいたい。いつかはやってくる「親なきあと」問題について必要な知識や、自立に向けたお金の管理や福祉サービス・就労など…本人やご家族の抱える問題は多岐に渡ります。特に将来設計やお金の問題に関しては、施設や相談支援機関では対応が難しいのが現状です。

今回の勉強会は、そんな将来への漠然とした不安について「親いるあいだ」に取り組んでおきたい対策や、「親なきあと」でも自分の力で安心して生活するための多種多様な事例を踏まながら解説していきます。

後半は、障がい者のお金に関する専門家・ファイナンシャルアドバイザー協会から「親なきあとも大切な我が子がお金に困らない為にどうすればいいのか?」という視点から解説します。1円でも多く残す事も大切ですが、本人やきょうだい児が安心できる残し方や、今のうちに準備しておきたい仕組みをやさしく説明します。



講師 首藤 徹也

Profile

- 一般社団法人あしたパートナーズ 代表理事
- 株式会社あしたパートナーズ 代表取締役
- 企業や障がい福祉事業者とのパートナーシップにより社会全体で障がいのある方がいるご家族を支えていく社会を目指して日々活動。大手企業・全国の特別支援学校・親の会・社会福祉協議会・障がい福祉施設でも多数講演する人気講師。



「親なきあと問題」
専門のオンライン
コミュニティ



あした
パートナーズ

開催スケジュール

○名古屋会場 ワインクあいち

参加費
無料

愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38

① 2月25日(水)

午前の部:10時~(受付 9時40分~)

午後の部:13時30分~(受付 13時10分~)

●部屋…1303 ●定員…各40名

② 2月28日(土)

午前の部:10時~(受付 9時40分~)

午後の部:13時30分~(受付 13時10分~)

●部屋…午前/1303・午後/1210 ●定員…各40名

お申し込みは
こちらの
QRコードから



○東京会場 きゅりあん

参加費
無料

東京都品川区東大井5-18-1

③ 3月1日(日)

午前の部:10時~(受付 9時40分~)

午後の部:13時30分~(受付 13時10分~)

●部屋…6F 大会議室 ●定員…各40名

④ 3月4日(水)

午前の部:10時~(受付 9時40分~)

午後の部:13時30分~(受付 13時10分~)

●部屋…5F 第三講習室 ●定員…各40名

お申し込みは
こちらの
QRコードから



〈問い合わせ : 一般社団法人ファイナンシャルアドバイザー協会(問い合わせはメールでお願いします)〉

主催



一般社団法人 ファイナンシャルアドバイザー協会

T670-0912 姫路市南町63ミツワビル1F TEL.050-1726-4632 E-mail : yorisou.mirai@gmail.com

※個人情報は、当協会の個人情報保護に関する方針に基づいて厳重に取り扱い、管理致します。※電話での受付は対応していません。

supported by 一般社団法人ファイナンシャルアドバイザー協会

障がいのある方の「学び」と「就労」、「お金」の未来設計
専門的な視点から、安心できるこれからを一緒に考えましょう



こんな不安、感じたことはありませんか?

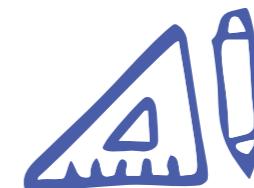
- 子どもの将来が心配
- 進路や働く姿が想像できない
- 今が精一杯で先のことまで考えられない
- 親がいなくなったあとのことを考えると不安
- 親なきあとをどうするかが心配
- 親なきあととのきょうだい児(障がい者の兄弟姉妹)の将来の負担を考えると不安
- 親なきあとに1円でも多く残してあげたいが、それ以上に本人が安心して暮らせる様に残してあげたい

小学生のうちは「学業や進路」が不安の中心でも、高校生になると「就職や自立」への不安が出てきます。今は、自分らしい生き方に合った学校選びができる時代。

だからこそ、大切なのは「将来自立して生活していく力」を育てることです。

一人になったときの未来を想像し備えることで、家族みんなが安心して過ごせる毎日に近づけます。

学びから1つでも多く、不安を「安心」に変えていきませんか?



YORISOU-未来

自立への第一歩





事があります。それは、息子の麗良をどうケアするかという事です。そして、時間が経つにつれて、段々と息子のケアについての考え方があわってきました。

息子を仕事現場に連れて行き始めたきっかけ

麗良が産まれ、まだ幼かった頃(麗良の健康状態が不安だった頃)、私は産休のような形で音楽活動を休止していました。その後、糾余曲折あり、音楽活動を再開するのですが、同時に講演活動も始めた為、全国各地での仕事が沢山ありました。当時の私の心境を正直に話すと、宿泊を兼ねる仕事が入る事は、とてもありがたいなと思う反面「麗良を東京の家



に残して出掛ける不安」が大きくあります。もちろん、息子を家に一人で留守番させる訳ではなく、友人や仲の良いスタッフに、我が家に泊まりに来て貰うという形を取つていた訳ですが、それでも、やっぱり息子への心配が止むことはありませんでした。

当時のスタッフからは「そんなに心配なら、麗くんも一緒に連れて行つたらどうですか?」と幾度か提案されました。が、それはそれで、私自身が講演や歌唱に集中できるかな、という懸念もありました。そのように迷い続けた結果、なかなか息子を仕事現場に同行させる事はなく、初めて息子を同行させたのは、海外を巡る大型船での仕事でした。

当時、息子を日本に置いて私だけ海外で仕事でした。息子を日本に置いて私だけ海外で仕事でした。その理由は、2つ目の選択肢「麗良を仕事現場に連れて行く」という方法を得られた理由は、私達親子を応援してくれる沢山の方々の愛情が在り、私自身も、その愛情を確信したからだと思います。昔の私は、シングルマザーという事もあり「麗良には私だけしかいない。しっかりと守らなければ」という思いが強すぎたのかも知れません。或いは、若かった私自身が、人の愛情を素直に受け止める余裕に欠けていたのかも知れません。

この熊本県でのコンサートは市を跨ぎ2会場で行いました。とても彩り豊かなコンサートになったと思います。公演



水越 けいこ

シンガーソングライター。1978年「幸せをありがとう」でデビュー。TBSの朝の情報番組「8時の空」に田中星兒と共にレギュラー出演。その後、「ほほにキスして」「Too Far Away」がヒット。現在はダウン症を持つ息子・麗良と2人暮らしをしながら音楽活動と講演活動を続けている。

<https://ameblo.jp/keiko-mizukoshi/>



M Size
はじまり
~Again~
VOL.71

応援してくれる人々の愛情を
素直に受け止めて甘える大切さ

シンガーソングライター 水越けいこ

変わってきた、地方仕事の際の息子のケアへの考え方

去年、冬が来る少し前にコンサートで九州を訪れました。私のコンサートは、東京や近郊での公演はもちろんですが、この度の九州は熊本(時に長崎)、定期的に大阪と名古屋、また新潟など、各地での公演も積極的に行っています。それらのコンサートの一本一本は本当に大切で、私のライフワークになっています。



大切なライフワークである
各地でのコンサート

メルディアは悩みや不安のあるご家族に寄り添い、前を向いていく力をサポートします



ひとりで考えると
不安なことなどいつしょよ
希望に変わります。



カウンセリングルーム
メルディア ウェルネス
MELDIA WELLNESS

ついに完成! メルディア初のガイドブック

発達障がいのお子さんを初めて育てる親御さんに向けた、発達ガイドブックが完成しました。制作の背景や、発行までの想いを少しだけご紹介。

ぜひ多くの方に役立つガイドブックとなりますよう願っています。



カウンセリングルーム
メルディア ウェルネス
MELDIA WELLNESS



お問い合わせ

志士ノ まる フリーランスデザイナーの他、イラストレーター、漫画家として活躍するシングルマザー。長男のリュウくんは自閉症であり、軽度知的障がいでもある。まる著『シンママのじめて育児は自閉症の子でした』(KADOKAWA、2022年)好評発売中。

(左)X(旧Twitter)
<https://x.com/shishishimr>

(右)Instagram
<https://www.instagram.com/maru.manga/>



PRESENT

応募方法

右のQRコード*から必要事項をご記入の上、ご応募ください。当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。
※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。



2月28日
(土)
締切



お問い合わせはこちら



ホームページ
一般財団法人 メルディアの
ホームページでは当財団の
取り組みやイベント情報を掲
載しています。X(旧Twitter)
では湘南ベルマーレ観戦チ
ケットプレゼントやスポーツ
支援情報を発信しています。
是非、ご覧ください。

X(旧Twitter)
https://x.com/gf_melda



ホームページ
<https://mlda.jp>



一般財団法人 メルディア
Meldia Foundation
MELDIA
つなぐ

TOKYO HACHIOJI
BEE TRAINS

プロバスケットボールチーム東京八王子ビートレイズ

子どもたちに夢と未来を! -誰でも平等に夢を持ち、叶えることができる-



メルディア特別プレゼント企画

石井選手のサイン色紙&グッズ贈呈!!

インタビュー後、石井選手に色紙とベルマーレの公式グッズへサインをしていただきました。
こちらをメルディアから3名様にプレゼント! このチャンスを逃さないよう、ぜひ応募ください。



世界で活躍する
選手になります!



サッカーの応援に欠かせない
プラクティスシャツにも、
しっかりと77の数字が
光っています。



今後さらに活躍が期待
できる石井選手。直筆の
サイン色紙は、家の
目立つところへ!



「もしかして、うちの子、ちょっと違う？」

その不安を感じるすべての親御さんへ

子どもの「不思議」「違和感」に寄り添う発達ガイドブック

3～5歳で感じる小さな“違和感”や“気になるサイ”、文章と漫画を交互に用いてわかりやすく整理。専門家の知見と、実際の子育て経験をもとに、その戸惑いを、ひとりで抱え込まないために。家庭でできるチェックポイントや早期支援の考え方をやさしくまとめた一冊です。



幼兒期(3~5歲)編

好評 発売中！

ご購入は
こちらから



Amazon



楽天

定価 本体600円 + 税

発行所 一般財団法人メルディア
発売所 鈴木出版株式会社

第11章

一般財団法人 メルディア
Meldia Foundation

3~5歳の“気になる”に気づいたら読む本

療育支援の実務経験もある日戸由刈教授の知見に基づいた内容を、自閉症児の息子さんを育てるシングルルマザー・まるさんによる漫画で“やさしく読める”ガイドブックに仕上げました。

■監修者 日戸由刈／相模女子大学 人間社会学部 人間心理学科 教授
心理学・自閉症スペクトラム症・心理的アセスメントの専門家。25年にわたり、子どもの発達支援・療育の現場に従事した経験も持つ。

■イラストレーター 志士ノまる／イラストレーター・漫画家・デザイナー
フリーランスとして活動するシングルマザー。長男リュウくんは自閉症と軽度知的障がいがあり、
その子育て経験を生かした作品づくりが共感を呼んでいる。